大阪市立

北鶴橋小学校

校長名｜川﨑　菜穂子
所在地｜〒544−0031 大阪市生野区鶴橋3−4−50
電話番号｜06−6741−6706
FAX番号｜06−6741−0602
HPアドレス｜https://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e671480

QRコード

主な学校行事

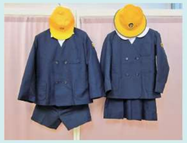
4月	入学式　始業式　対面式　家庭訪問　新体力テスト　発育測定　避難訓練　学習参観・懇談会 どうぞよろしく集会（たてわり班活動）
5月	民族学級・中国学級入級式　全校遠足　運動会
6月	創立記念日（1日）　学習参観　引き渡し訓練　プール開き　体重測定　スリーアイズ大会（地域）
7月	期末個人懇談会　終業式　5年自然体験学習　盆踊り大会（地域・PTA）
8月	始業式
9月	避難訓練　発育測定　学習参観・懇談会　プール納め　室戸台風慰霊の日（21日）
10月	遠足（1~5年）　6年修学旅行　就学時健康診断　学校公開（説明会）
11月	民族学級・中国学級・国際理解教育発表会
12月	作品展　期末個人懇談会　終業式
1月	始業式　避難訓練　北鶴フェスティバル（たてわり班活動）　発育測定　もちつき大会（地域・PTA）
2月	学習参観・懇談会　入学説明会　6年卒業遠足体重測定
3月	卒業をお祝いする会（たてわり班活動）　民族学級・中国学級修了式　卒業式　修了式

教育目標

心ゆたかな子ども　～よく考える子　助け合う子　進んでやる子～

北鶴橋小学校は令和9年4月に鶴橋小学校との再編を予定しています。詳しくは生野区役所ホームページをご覧ください。⇒

標準服



重点目標

- 総合的な読解力育成に向けた深い教材分析を基盤とした確かな読みの育成
- ICT機器を有効活用した学び合う学習スタイルの充実
- 個性を活かす個別支援（コグトレ・・・認知トレーニングの活用）
- 仲間づくりを通した自己有用感の向上
- いじめを許さない学級づくり
（毎日の自分の気持ちを☀☁☔⚡の記号で残す「心の天気」）
- チーム北鶴橋としての課題解決と学校力の向上

めざす子ども像

- 進んであいさつする子
- 話をしっかりと聴ける子
- 進んで学習をし、よく考える子
- 感謝の気持ちを伝えられる子
- 思いやりの心をもち、自他の文化を大切にする子
- 自分や友だちのよさを見付け、そのよさを認め合える子
- 進んで健康な体づくりに努め、安全に行動できる子

令和6年度全国学力・学習状況調査

平均正答率（%）

国語	算数
66	69

結果概要

算数科は全国平均を上回ったが、国語科はわずかに下回る結果となった。両教科とも無回答率は全国平均よりも低いことから、最後まで粘り強く課題に取り組もうとする姿勢が見られた。

算数科では、図や表を見て考えたり、長い問題文を読んで考えたりする問題が多く見られたが、解答時間が「余った」「ちょうどよかった」と答える児童が86.3%であり、時間内に問題文を適切に読み取り、図や表も見落とすことなく活用して解答することができていた。しかし、国語科では解答時間が「やや足りない」「全く足りない」と答える児童が19.7%おり、限られた時間の中で長文を読んで、焦りから読み飛ばしや解答ミスをしたと考えられる。今後、国語については、時間内で問題文を読み取り、余裕をもって解答ができるようにする必要がある。

自校の取り組みの成果と課題、アクションプラン

［国語］

「目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討したり、伝えたいことを明確にしたりすることができるかどうかを見る問題」では、全国平均を上回る結果が見られた。これらについては、ICT を活用して調べ学習をし、伝えたいことを明確にしながら、プレゼンテーションを行ったりまとめたりすることを学習の中で普段から取り入れていることによる成果だと考えられる。しかしその一方、「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかを見る問題」では、全国平均を下回る結果が見られた。今後はさらに基礎・基本の学習の定着を図る取り組みを実践していく必要がある。

［算数］

「直方体の見取図について理解し、書くことができるかどうかを見る問題」や「直径の長さ、円周の長さ、円周率の関係について理解しているかどうかを見る問題」、その他の図形問題では全国平均を上回っている。これは日ごろより ICT 機器を活用して、視覚的にわかりやすく学習できるよう工夫していることが成果につながっていると考えられる。しかし、「数量の関係を、□を用いた式に表すことができるかを見る問題」は全国平均を下回っている。今後はさらにデジタルドリルを活用し、自主的に課題に取り組むことができるようにしていく必要がある。

令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査

種目別平均値

性別	握力（kg）	上体起こし（回）	長座体前屈（cm）	反復横とび（回）	20mシャトルラン（回）	50m走（秒）	立ち幅とび（cm）	ソフトボール投げ（m）	合計得点
男子	17.31	16.85	37.31	33.15	44.54	9.23	144.38	18.77	50.23
女子	16.33	21.33	42.17	37.33	44.33	9.23	141.67	13.67	58.00

結果概要

今回の調査結果では、大阪市の平均を男子が3種目、女子はすべての種目で上回った。特に握力、長座体前屈は男女ともに大阪市平均を大きく上回る結果となっている。男子では、上体起こし、反復横とびは大阪市平均との差が大きく、体力合計点では大阪市平均を上回ることができなかった。一方、女子はすべての種目において大阪市平均を上回り、特に 20mシャトルランでは大きく上回っており、体力合計点でも、大阪市の平均を大きく上回った。

「運動やスポーツをすることは好きですか」の質問では、男女とも肯定的な回答をする児童が 90%を超えており、「体育の授業は楽しい」の質問では、肯定的に回答する児童も男女ともに 90%を超え、大阪市平均を上回っている。1週間の総運動時間については、男子は大阪市の平均よりも下回っているが、女子は運動時間が0～ 59 分の児童がなく、60 ～ 419 分の児童が大阪市平均を上回ったことが、今回の体力合計点のポイントの大幅な増加につながったと考えられる。

自校の取り組みの成果と課題、アクションプラン

- 20分休憩の最後の5分間で、1年を通して「なわとびタイム」を実施した。跳べた回数や種目が増えていくことで、子どもたちの意欲が高まっていくとともに、20分休憩の開始時から運動場に出て、遊ぶ児童が増えてきた。
- 3学期には「かけあしタイム」を実施し、寒い日でも1日に1度は外に出て、体を動かす習慣をつけるようにした。「がんばりカード」に走った距離を記録していくとともに、全校児童を2つのグループに分けて、グループの走った距離の合計を競い合うような取り組みを行ったので、意欲的に走ることができた。
- どの学年の児童も概ね運動をすることが楽しいと感じているが、遊ぶ時間や場所の制約もあり、十分に運動ができていない。しかし、体育でゲストティーチャーを招聘して、様々な運動を体験する機会を設けることにより、これまで経験したことのない運動にチャレンジしたり、効果的な運動の方法やコツを学んだりする機会を多く設けることができた。今後は、地域や保護者と連携し、放課後や休日に運動に取り組むことができるようにしていく必要がある。

校長先生のメッセージ

本校は、今年で創立 107 年目となる歴史ある小学校です。

なお、令和9年度末に鶴橋小学校との統合が決まっており、閉校を迎えることになっています。

全校児童 106 名と、小規模校ならではのよさを活かした、一人一人に向き合った学校づくりを児童、教職員、保護者、地域が「チーム北鶴橋」一丸となって行っています。

主体的・対話的で深い学びにつなげるため、日々授業改善を行っています。1年生から専科での体育の授業、3年生以上の算数と総合的な学習は2人体制で（教室に入り込んで行う場合と、学級を2つに分けて行う場合があります。）、また、3年生以上の音楽と理科も専科で行っています。さらに、小中連携の一環として、外国語活動と外国語に関しては、桃谷中学校の英語の先生が本校に来て、C―NETと共に授業を行っています。

多くの教職員で子どもたちを見取る体制を大切にし、子どもたちのわかる喜びが大きくなるように、そして自信をもって次のステップへ進めるように支援しています。

運営に関する計画

計画のエッセンス

- ICT機器を有効活用した新しい学力観に則った基礎・基本の定着と学ぶ楽しみを得られるための授業改善（今年度は、昨年に引き続き、国語科を中心に「確かな読みの育成」をめざします。）
- 「国際理解の学習」を要とした、日本や地域のことはもちろん、様々な国や地域の文化について理解し、互いのよさを高め合い、共生していこうとする国際人をめざした人権教育
- 「いじめ」=「人を嫌な気持ちにさせる言動」ととらえ、みんなが気持ちよく暮らせる社会をめざそうとする「心の育成」

中期目標、年度目標等

【安全・安心な教育の推進】

①小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を 90.1%以上にする【令和6年度 90%】。

②年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率 0%を維持する。【令和6年度 0%】

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

①小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度以上にする【令和6年度　4年 1.19%、5年 1.05%、6年 0.96%】。

②小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を前年度以上にする【令和6年度 47.8%】。

【学びを支える教育環境の充実】

①授業日において、生徒の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の前年度以上にする【令和 6 年度 89.3%】。

②「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準1を満たす教員の割合を前年度水準にする【令和 6 年度 100%】。

「特色ある学習活動」　および　「家庭・地域等との連携」

特色ある学習活動

ICT 機器の積極的な活用

全教室に電子黒板機能付き大型モニタを設置し、デジタル教科書を有効活用した授業をどのクラスでも行っています。ICT推進教員を中心に、全学年でタブレット端末を活用した授業を積極的に行っています。また、校内で所有するプログラミングロボットを活用した、プログラミング教育も計画的に行っています。

学年を超えた交流活動

本校では全校児童106名の小規模校という特色を生かして、学年を超えた交流活動を盛んに行い「心の育成」に力を入れています。春に行う全校遠足を始めとして、交流給食等様々な取り組みを行っています。また、登校班を編成し、集団登校はもちろんのこと、毎学期、班会議も行い、縦のなかまづくりにも力を入れています。

国際理解教育の取り組み

本校には民族学級と中国学級があり、様々な国や地域の文化にふれながら、「互いの文化を認め合い、高め合える国際人の育成」を行っています。国際理解発表会や国際理解週間では、様々な国の文化に触れる取り組みを行っています。「だんじり囃子（6年生）」「箏体験」など日本や地域の伝統文化についても大切にしていく取り組みを積極的に行っています。

個の特性を大切にした教育の実践

校内に「通級指導教室」が設置されており、近隣校から「ことばの学習」に来られて学習をしています。本校児童は校内に設置されていることもあり、移動時間なく通うことができます。

また、高学年算数科においては20名程度のクラスをさらに分割して、10人程度の習熟度別少人数学習も行ったり、認知力強化として「コグトレ」を取り入れたりするなど、個に応じたきめ細やかな学習を展開し、学力の向上を推進しています。

家庭・地域等との連携

地域ボランティアの方々との交流

登下校の見守り隊の活動により、児童の安全の見守りをしていただくだけでなく、お話の会や土曜授業などのゲストティーチャーとして活躍していただいています。また、「盆踊り大会」や「餅つき」、「ハイキング」など子どもたちを対象とした地域行事も盛んにおこなわれています。

多くの子どもたちが、楽しんで参加をしています。

PowerPoint 共同編集を使ったプレゼン

タブレット端末を活用した話し合い活動

デジタルスクラップブックづくり

ロボットを使ったプログラミング学習

どうぞよろしく集会

北鶴フェスティバル

卒業を祝う会

集団登校

民族学級・中国学級・国際理解教育発表会

箏体験

だんじり囃子体験

通級教室

習熟度別少人数学習

コグトレ掲示板

コグトレカードゲーム COGET

昔あそび

夏祭り

読み聞かせ

餅つき